

患者氏名: @PATIENTNAME 様

月日 経過	治療前	リツキサン療法	EPOCH療法:2日～5日目	治療 6日目～	退院 治療7日目～退院
達成目標	◇治療に同意し必要性を理解している ◇治療の副作用を理解している	◇点滴によるトラブルが起きないように注意を払うことができる ◇副作用が出現した時に報告できる ◇うがい・手洗いの感染予防が実施できる、治療前と同じリズムで排便がある		◇副作用の変化を報告できる ◇感染予防行動が実施できる	◇副作用の変化を報告できる ◇感染予防行動が実施できる ◇退院に向けての準備ができる
治療 看護	・治療のためのカテーテルを挿入します ・毎朝体重を測定して下さい	・リツキサン投与30分前に抗アレルギー薬、解熱鎮痛剤を飲みます ・開始後は体の状態に合わせてスピード調整します ・開始後は30分毎に血圧をはかります	・抗がん剤を24時間持続で点滴します（2日目～5日目まで） ・5日目に2時間の抗がん剤点滴があります ・プレドニンの内服があります（5日間）		・白血球の回復を助ける皮下注射を行います（注射の影響で腰が痛くなることがあります）
主な副作用		寒気、発熱、ふるえ、頭痛、息苦しさ、動悸	吐き気、食欲不振、便秘、しびれ、不眠	吐き気・食欲不振・味覚の変化・便秘・しびれ・体重増加・脱毛爪の色素沈着・骨髄抑制	
検査	・主治医の指示のより、レントゲン、採血や検尿があります				
安静度	・病棟の外へ出ていただくことは原則禁止しています（主治医の指示により検査時は外来に降りてもらいます）				
食事	・食事は「加熱食」になります。食事管理のパンフレットを参考にしてください ・吐き気予防のため、抗がん剤投与前の食事は軽めにするほうが効果的です				
清潔	・体の清潔のため、できるだけ毎日シャワーに入るようにしてください（8時30～17時までの間に順番にお呼びします）24時間抗がん剤をしているときは温タオルをお渡しします ・首から点滴のカテーテルが挿入されている場合は、首から下のみのシャワーとしてください				
排泄	・主治医の指示で尿量をはかる場合があります ・便秘に注意しましょう（便が硬くなったり、便の量が少なくなった場合は下剤を使用することがあります） ・抗がん剤治療中は（抗がん剤が終わって48時間が目安です）、トイレの後2回流してください ・男性の方も尿が飛び散らないように便座に腰掛けて排尿してください（抗がん剤投与後は、しばらくの間、排泄物の中に抗がん剤が残る可能性があります）				
説明	・主治医から治療、入院期間に関する説明があります ・薬剤師から治療に使用するお薬の説明があります。看護師から治療を受けるときの注意点について説明があります			・看護師から退院後の注意事項について説明があります	
その他	・点滴中に「痛み」「腫れ」「赤み」「しこりのようになっている」ことがあればすぐお知らせください。針をさし直す等程度に応じて適切な処置をします ・点滴の針を抜いた後に血管に炎症が起こることがあります。看護師も観察させていただきますが、「痛み」「腫れ」などがあればお知らせください ・熱がある（37.5度以上）、寒気がするなどの症状があれば教えてください。				



年 月 日
本人・家族